

道守

みちもり

MICHIMORI
TSUSHIN

通信

vol.47 秋号



巻頭インタビュー

行政と道守 ～より、WIN WINの関係へ～
森田 康夫（九州地方整備局長）

みちづくし in 鹿屋 2024

～宇宙へつづく光る道へ～

九州風景街道 令和5年度

年間優秀活動表彰

ながさきサンセットロード／

北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”／

あまくさ風景街道

古代から、道は人々の共有財産であった。力を合わせ道普請し、守ってきた。道は街を作り、産業を興し、文化を運び、人々を結びつけた。つい、この間まで、子どもたちがキャッチボールし、縄跳びなどで、明るい歓声が響いていた。お年寄り、縁台で将棋をさし、ほうきで道を掃き、水を撒くお母さんの姿もあった。そんな「日本の原風景」は何処へ行ったのだろうか。

確かに、高速道路やバイパスなど、道は整備され、日本の高度経済成長を支え、豊かな暮らしをもたらした。しかし、多発する事故、渋滞、大気汚染、騒音。何より、車優先社会は、人々の心を道から遠ざけてしまった。自宅前のごみや雑草さえ知らん顔。それどころか、空き缶のポイ捨て、家庭ごみの投げ捨てが日常的な風景になってしまった。

そんな現状に、心を痛め、清掃や花壇作り、植樹に取り組む人々が増えている。行政まかせから、「道はみんなの財産」という意識と行動。新しい「公」への動きが芽を出しているのだ。行政と住民が手を携え「協働」で道を守るという新しい意識の潮流。そこから生まれた九州各地の活動が、合流し、大きな流れになってゆく。「道守九州会議」の誕生だ。

道守。その由来は遠く万葉の昔にさかのぼる。道を管理し、守り、旅人の飢えと渴きを癒す果樹を沿道に植えたという。現代の道守は住民と行政が協働し「道と人の新しい縁」を紡ぐ。さあ、新しい道に一步踏み出そう。



人形岩(鹿児島県薩摩川内市西方町)

CONTENTS

- 01 巻頭インタビュー
行政と道守 ～より、WIN WINの関係へ～
森田 康夫（九州地方整備局局長）
- 02 みちづくし in 鹿屋 2024
未来を拓く道守活動
～宇宙へつづく光る道へ～
- 04 みちづくし in 鹿屋 2024
道守九州会議交流会
- 06 みちづくし in 鹿屋 2024
未来を担う若い世代と地域との交流紹介
- 09 みちづくし in 鹿屋 2024
現地体験学習
- 10 わたしの好きな道
潮風を浴びながら走れる離島の道
江口 元気
- 11 私たちの道守活動
- 14 九州風景街道 令和5年度
年間優秀活動表彰
- 16 道守人物伝
- 17 道守たちのトピックス・アンケート・編集後記

表紙画：久富 正美

1935年福岡県生まれ。「小さい旗」同人。グループ「五架会」会員。

巻頭 インタビュー

九州地方整備局
局長

森田康夫

行政と道守
～より、WIN WINの関係へ～

衝撃的だった 阿蘇の大規模斜面崩壊

田島 「道守九州会議」は平成16年2月に設立され、20年を経過し、現在では約45万人で活動しています。今年10月24日と25日には、鹿児島県鹿屋市で「みちづくし」を開催します。局長にも是非ご参加いただき、道守さん達と交流してください。

森田局長 私は「みちづくし」の宮崎大会に参加したことがあります。今回も是非、参加させていただき

阿南 ありがとうございます。局長は熊本地震の時に熊本河川国道の事務所長をされていました。大規模な斜面崩壊、阿蘇大橋の落橋、国道

57号や325号の不通などに早急な対応をされ、私たち住民にとって心強く感じていました。あのときの一番のご苦労は？

森田局長 衝撃的だったのは阿蘇の大規模斜面崩壊です。前震と本震があり、前震は4月14日、16日に本震が発生しました。57号の現場では斜面が700m程度崩落、阿蘇大橋の落橋に愕然としました。捜索支援のフェーズが最もしんどかったです。俵山ルートでは、俵山トンネルの覆工コンクリートの崩落や桑鶴大橋のケーブル損傷などの被災を受けました。12月24日、クリスマス前日に暫定で交通開放を行いました。阿蘇方面に行く唯一の道がようやくできたことで、地域の方から最高のクリスマスプレゼントと言われたことが、大変嬉しかったですね。

阿南 57号の大動脈が5年ぐらいで開通しましたから、大きいですよ。57号は十分に続く大動脈。斜面の工事はすごかったですね。

森田局長 北側復旧ルートは本場に地域にとつて、良い仕事になったと思います。13kmのバイパスのうち4kmがトンネル。実質4年で開通させたのは、スピード感のある災害復旧であったと思います。最終的には豊肥線も復旧したので良かったなあと。

阿南 「みちづくし in 阿蘇2022」

のテーマは「阿蘇からのチャレンジ復興九州」とし、支援活動や災害の備えと地域連携について話し合い、実践しています。

森田局長 私たちはなかなか被災された方とまで手が届かないんですけども、熊本の地震のときも、令和2年の球磨川の大災害のときも支援で現地に入っていたいたと聞いています。

田島 道守の他に、風景街道、道の駅の活動があります。私たちは、県境を越えて活動を展開しようとしています。

森田局長 道の駅、道守、風景街道は、別々の目的で、立ち上がっているのですが、その地域を繋ぐとか人を繋ぐという意味では共通の輪でくくれる可能性が高いので、それをうまく連携させながら、活動していただいています。

そういう意味でこの道守会議、各地域の道守の活動で、職員も一緒になつて交わらせていただいて、ボランティア活動にも参加させていただいて、よりwin-winのいいスパイラルで仕事ができている、大変ありがたいなと思うんですよね。

阿南 人の繋がりが増えて活動が広がっています。10月5日には、やまなみ開通60周年記念と12日に行われるツールド九州に備えて60kmの一斉清掃を行います。

田島 鹿児島～天草～島原～長崎共通のサンセットロードでは自転車の活用を推進されるようになり、地方でもサイクリング道などへの関心が高まっています。

森田局長 自転車の走行環境の整備も行っていますし、十分にできた国道10号「道の駅たのうらら」では、自転車が休憩できるようなサイクルラック、道の駅の中にシャワー室等、サイクリストやランナーが休憩できる空間も作っています。郊外部でも自転車が行きやすい環境の整備を行っている最中です。

田島 私は風景街道に参加してるんですけど、海岸沿いの阿久根や川内に行ったりとか、その3号つてすごく狭いんですよ。そこをサイクリングというか自転車を通るわけなので、そういうところは整備されていないんですね。

森田局長 例えば南九州西回り自動車道が延伸していくと、物流など長いトリップの車両は自専道に転換するので、現道の国道3号は自転車や歩行者が走りやすい空間に再構築していくといいでしょうね。

阿南 道守活動は20年を経過しました。今後の活動の展開はどのような感じだと思いますか。

森田局長 本当に20年よくぞこまで育ててくださいました。45万人という会員数にも広がったこの活動が、



ますます九州の中でしっかりと根付いて、行政と地域の方々と一緒になつて、もっと盛り上げられたいと思います。

■森田局長プロフィール
もりた・やすお 三重県出身。昭和63年に建設省入省。九州地方整備局熊本河川国道事務所長、大臣官房技術調査課建設技術政策分析官、国土技術政策総合研究所企画部長、豊橋市副市長を歴任後、令和6年7月より現職。

インタビュー
道守がこしめ会議 代表世話人
田島 直美さん
道守くまもと会議 世話人
阿南 誠志さん



10月24日・25日開催

宇宙へつづく光る道へ



鹿屋市PR特命係長
かのやカンパチロウ ©鹿屋市

鹿児島県鹿屋市で、10月24日(木)～25日(金)に
道守九州会議交流会「みちづくし in 鹿屋2024」
が開催されます。

鹿兒島県内では、2008年に鹿兒島市、2016年に薩摩川内市で開催されて以来、3回目の開催となります。今回は初めて大隅半島での開催ということで鹿屋市をおもてなしの場所とさせていただきま

鹿屋市は、本土最南端へと伸びる大隅半島のほぼ中央に位置し、人口は約10万人で、古くから大隅地域の交通・産業・経済・文化の拠点としての役割を担っています。

日本最大級の面積を誇る「かのやばら園」や、神代三山陵の二つである吾平山上陵、特攻隊の戦争遺跡など、多くの観光資源を有するほか、国立大学法人鹿屋体育大学や国立大隅青少年自然の家、県民健康プラザなど、健康・スポーツに関する機関・施設も集積しています。

また、市の北部には、日本の自然百選にも選ばれている高隈山系が連なり、西部は、鹿児島湾（錦江湾）に面した美しい海岸線が見られるほか、平均気温17・6℃、年間降水量2,685mmと、1年を通じて温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれ、第1次産業を基幹産業として全国でも有数の食料供給基地を形成しています。

なかでも牛や豚などの畜産が盛んで、第11回全国

ごあいさつ

九州各県の道守会員による交流会議「みちづくし in 鹿屋 2024」が鹿屋市で盛大に開催されます事に、心からお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より道の清掃美化から、安全・円滑な道への実践など多岐にわたる、様々な道守活動にご尽力いただき、感謝申し上げます。

本市は、歴史や文化、自然の様々な魅力を持つ地域です。

市内には、かのやばら園や鹿屋航空基地史料館など、魅力的な観光スポットが数多くございます。

2日目の現地体験学習会では、このような鹿屋の魅力を感じていただけるコースも準備されていますので、存分に感じていただけるものと期待しております。

結びに、今回の交流会及び交流集會が皆様にとつて実り多きものとなることを祈念いたしまして歓迎のあいさつに代えさせていただきます。

鹿屋市長 中西 茂



和牛能力共進会において、鹿児島県が総合優勝を果たし、鹿児島黒牛が和牛日本一に輝いた際には、鹿屋市から出場した7頭が、農林水産大臣賞をはじめ、すべてが上位入賞し、日本一に大きく貢献しました。

さらに、鹿児島県は養殖鰻の生産量日本一で知られており、大隅半島の温暖な気候と、シラス台地である過された豊富な地下水で育った鰻は、ふるさと納税返礼品としても非常に人気が高く、全国の多くの方々に親しまれています。

この2つの食材を全国にPRすべく、本市出身のサンシャイン池崎氏が「鹿屋市クリイエエーイティブディレクター」となり、「土用の『うしの日』」に食べるべきは、鰻か、牛か。

日本一の鰻と和牛のまち鹿屋市を二分する大論争が勃発！」というPR動画を作成し、大いに話題を呼びました。



KANOYeah!CITY
プロジェクト



KANOYeah!CITY
プロジェクト

また、カンパチの養殖でも知られており、本市の知名度向上及び「かのやカンパチ」の消費拡大、市民のシビックプライドを高めるためのPR活動に取り組んでいる、鹿屋市PR特命係長「かのやカンパチロウ」も、皆さんを歓迎しています。ぜひこの機会に、和牛、鰻、カンパチなど、鹿屋市の美味しい「食」をご堪能ください。

いっと、まっちゃんせ！

鹿屋の見所、見ていっきゃんせ！

かのやばら園

8 haの広大な敷地に約35,000株のバラが植えられた日本最大級の規模を誇るばら園です。バラの見ごろの春と秋にあわせて、「かのやばら祭り」を開催しています。

鹿屋航空基地史料館

特攻隊員に関する貴重な資料だけでなく、小説「永遠の0」にも登場する「零式艦上戦闘機五二型」や、旧日本海軍創設期から先の大戦、現在の海上自衛隊に関する貴重な資料を見学できる施設です。

菅原神社（荒平天神）

砂の参道が海に突き出た小高い岩場へと続く珍しい神社です。透明度の高い錦江湾の美しい景色や対岸の開聞岳などを見渡せます。祀られているのはあの学問の神様、菅原道真公。受験時期には、合格祈願などで訪れる方が絶えません。大潮の満潮時には、海に浮かぶ島となり、神秘的な風景が広がります。



菅原神社(荒平天神)



かのやばら園



鹿屋航空基地史料館



▲新聞広告大賞を受賞した新聞広告「土用の『うしの日』問題」

このほか、市内には国立大学で唯一の単科系体育大学である「鹿屋体育大学」があり、健康やスポーツに関する取り組みなどが盛んなのも特徴です。海や山の自然に恵まれ、輝北天球館があるなど美しい星空も自慢です。少し足を伸ばして大隅半島の東部に行くと、ロケット発射場であるJAXA内之浦宇宙空間観測所があります。

この自然豊かな大隅の地で、皆様との交流を深め感動を分かち合うことが出来れば光栄です。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

交流会テーマは「道守～宇宙へつづく光る道へ～」

実行委員長挨拶

道守活動 光り輝く道づくり



道守かごしま会議
代表世話人
田島 直美氏

道を舞台にさまざまな活動を行って早20年の年月が経ちました。

ボランティアという枠組みの活動団体としてこれだけ長く続く団体が他にあるでしょうか。年に一回の交流会にどんなにアクセスの悪い所でも多くの仲間たちが集い互いを知り、学び、交流を深める。これはまさに道を愛する者の民間と行政の協働の精神が合致していることにはかならないからではないでしょうか。

この節目の年に、みちづくしを鹿児島県で開催できることは大変光栄なことです。開催会場を鹿屋と決め実行委員会を立ち上げました。①原点を振り返ること、②今の活動を見つめなおすこと、③未来へつなげることを大切にテーマを考え「宇宙へつづく光る道へ」としました。

鹿児島県は宇宙に一番近い県と言われ2か所のロケット発射場があります。大隅半島には、小惑星探査機「はやぶさ」などを打ち上げたロケット発射場JAXA内之浦宇宙観測所があり、宇宙や光を連想させてくれる場所となっています。20年の道守活動から、より光輝く未来へつなげたいという思いで今回のチラシは道守や市の活動結果の美しい道を「光」に例えています。黄色いバラに彩られた二本の道。それが光に変わって宇宙につながるイメージを表現しました。道守それぞれの活動に磨きをかけて、光輝く組織となることを願っています。

道守活動の一つ、沿道の花植は、根気のいる活動です。人々を魅了しそして癒やす「花」が咲いているのはほんの一瞬ですが、そのための地道な努力を怠らず、活動を続けることで、道は輝きを放ちます。「光る道」とは、まさにそんな道守たちの活動とそれにより輝いている道のことです。

そして、すべての道守たちの活動を、これからも永く、遠くまで届けたいという思いを、JAXA内之浦宇宙空間観測所など「宇宙」にゆかりのあるここ大隅の地にちなんで、「道守～宇宙へつづく光る道へ～」というテーマにしました。

道守活動は、発足から今年で20周年を迎えます。この永きにわたり地道に活動を継

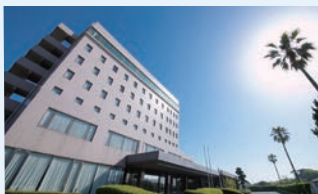
続し、支えてきて下さった先輩方に敬意を示すとともに、これから20年後の未来の道守活動を背負う若い世代との架け橋となるべく、今わたしたちは何ができるのか、何を伝えていくべきかを皆で考える交流会にできればと思っています。



プログラム

10月24日(木) 交流会／交流集会

会場ホテルさつき苑



時間

◆ 交流会 13:30～17:30
表彰式、基調講演、活動報告

◆ 交流集会 18:30～20:30

10月25日(金) 現地体験学習会

Aコース、Bコース

◆ 基調講演 ◆

講演者 山口 大貴氏

今回の基調講演では、国立鹿屋体育大学から山口大貴先生をお迎えし、自転車競技における選手時代・監督就任後の体験談や教訓など普段あまり聞く機会のない貴重な話や、地域とのふれあい、道路（ロード）との関わり、道に対する思いなどをうかがうこととしております。

〈講演者より一言〉 諦めなければ道は拓ける！

～自転車競技に学んだ
努力を積み上げる大切さ～

諦めなければ道は拓けるー私はこの信念をいつも胸に、日々の活動に励んでいます。自転車競技には、専門だった陸上競技での怪我のリハビリで行っていた自転車運動で出会いました。リハビリ中の孤独や絶望、早く完治させて復帰したいという焦りや不安といったネガティブな感情は今でも鮮明な記憶

として残っています。しかし、この経験を自分自身が持つているからこそ、今、怪我やスランプで悩む選手たちへの指導に活かしていると感じています。自転車競技転向後は、世界レベルの仲間と揉まれ、必死な日々を送りました。競技歴が圧倒的に短い私が勝つために、そのハンデをいかに短期間で効率よく埋められるのかを考え、研究活動に取り組みました。

豊かな自然や景観を持つ鹿児島県は、令和3年に『サイクルツーリズム推進協議会』を発足させ、各市町村や幅広い関係者とも連携の上、県の地域資源を生かしたモデルルートの設定や、安心してサイクルツーリズムを楽しめるよう受入環境整備などを進めています。鹿屋市では2001年から始まったツール・ド・おおすみサイクルリング大会をはじめとする各種イベントが数多く実施され、「自転車を見る・乗る・触れる」環境が整っています。健康づくりや自転車事故のない安全・安心な社会の実現、観光振興や地域活性化等、積極的に自転



車を活用したまちづくりを推進しています。今回の講演では、私のこれまでのキャリアを通じて、努力を積み上げていくことの大切さ、諦めないことの大切さをより多くの方に伝えることができたらと思っています。



プロフィール



山口 大貴氏
国立大学法人 鹿屋体育大学講師
自転車競技部監督
(顧問教員・部長兼任)

誠実でまっすぐ。情熱はだれよりも熱く、いつもがむしゃらで一生懸命。鹿児島県薩摩川内市で生まれ育ち、鹿屋体育大学に陸上競技推薦で入学したものの、怪我で自転車競技転向を決意したのが大学3年の頃。そこから猛練習と徹底した自己管理・持ち前の分析力により、わずか4年間の競技人生で全日本選手権など各種全国大会で6回優勝、日本学生記録も4回更新など華々しい経歴を持つ。現在は伝統のある同大学自転車競技部の監督として、若き人材の指導にあたり『新しい鹿屋の歴史を創る』楽しみを感じている。

【第一部】「未来を担う若い世代と地域との交流紹介」

地域の活動報告①

◆鹿屋体育大学スポーツ総合課程

〈発表者〉



宇地原 亮



鳥越 天宮

『スポGOMIワールドカップ2023出場』
ゼミ活動の二環で令和5年6月17日(土) 浜平海岸で開催されたスポGOMIワールドカップに参加しました。
日頃、競技論・実習(海洋スポーツ)の授業で海洋ゴミの問題について学んでおり、深刻な事はわかっていましたが、実際に現場に足を運ぶと想像を超えるゴミがありました。これからの海洋ゴミ問題について改めて考えさせられ、海洋スポーツにかかわるものとして海をきれいにしていくという気持ちにより「層芽生えた良い機会になりました」。
今回の発表で、より多くの方がゴミ問題を考える良い機会になればと思います。



スポGOMIワールドカップ2023にて

地域の活動報告②

◆鹿児島大学法文学部

鹿屋市吾平の中央麓地区町内会では、毎年まちづくりを学ぶため、鹿児島大学の学生が地域の行事などに参加しています。鹿大の金子教授が市のまちづくりに関わったことが縁となり、この活動は始まりました。年に数回、ゼミ生が地域のお祭りやスポーツ大会の企画に協力しています。

令和6年は、6月29日・30日に中央麓地区ふれあいセンターで実施しました。ゼミ生9名が訪問し、地元の小学生と夏休みの計画を考えたり、ミニ夏祭りの運営を手伝ったりしました。地元の方々からも「地域に活力が出てうれしい。」と喜ばれています。この交流も今年で10年目を迎えます。これからもずっと交流の輪を続けられたらと思います。



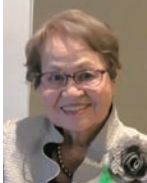
子ども・学生の交流会



この交流の輪を続けられたらー

【第一部】道守活動報告

福岡



はかた夢松原の会
理事長
磯谷 慶子氏

水と緑とまちづくりをテーマに37年 緑豊かな環境を次世代につなぐ



博多湾に誕生しています。

昭和64年に人工海浜となった百道浜に白砂青松の松原を復元しようと松の植樹活動を始めて37年、福岡市西区や国営海の中道海浜公園などに、約57,000本を植樹し、現在では世界に誇れる「クロマツ美林」が博多湾に誕生しています。

「水と緑とまちづくり」です。海から川、川から水源地の森へと、地域の人々と深く交流を重ねながら、自然との関わり、自然と共に生きるための方策を模索しながら活動を続けています。平成24年からは、景観豊かな道路空間と地域のコミュニティを創造するために、「国体道路花いっぱい運動」に取り組み、現在では、快適な歩行空間づくりと福岡市の「人・花運動」のメンバーとして保育園児や大学生をはじめ多くの市民参加のもと、沿道店舗の協力を得ながら活動を続けています。お陰で、美しい街並みと四季折々の花で観光客をもてなすなど大きな成果を上げています。

この度、はかた夢松原の会は、「緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞」を受賞しました。これまで支えてくださった皆様のご支援の賜物と痛感しています。この受賞を糧にこれからも緑豊かな環境を次世代につないで、続ける活動を展開していく所存です。



学生、企業、住民と花植

佐賀



「江北町女性ネットワークの会」代表
岸川 富差子氏

「笑顔いっぱい！花いっぱい！」

江北町女性ネットワークの会は平成14年12月に発足、平成29年から江北町内を「花いっぱい！」「地域の子供たちや江北町を訪れる人には「笑顔いっぱい！」にするための活動に日々取り組んでいます。会は16団体で構成され会員164名のほとんどが元氣溢れる女性です。日頃の主な活動は町内や道路沿いの花壇整備や清掃を行うことで、1年を通して季節ごとの彩りの花を植栽し、除草、水やり肥料やりと管理を行うことで、通行車両からでも愛でただけるような、癒し空間創造による「おもてなし」に励んでいます。また、地域活性化と子供たちの豊かな心を育むため平成30年から「こども食堂」を開始し、令和4年には多文化交流事業でのベトナム、ミャンマーからの来日実習生との交流といった、「こころの笑顔」「ふれあいの笑顔」「交流の笑顔」とにかく笑顔いっぱいのネットワークの輪を繋ぎ広げる、江北町の元気づくり取り組みも行ってきました。令和4年度には継続した取り組みに対して国土交通大臣からは感謝状、佐賀国道事務所より功労賞を頂きました。今後も国道(34号)を通行されるみなさまにも道路を彩る花空間で和やかな気持ちで目的地に向かって頂けるように江北町流「おもてなし」でお迎えします。



花の入れ替えから周辺掃除まで

長崎



道守長崎会議代表世話人
松田 浩氏

地域の道をだれがいかん守っていくか！ 「道守」古代からの遺伝子



長崎大学道守養成講座は、道守九州会議創設の4年後の平成20年度から科学技術振興調整費の支援を得て開始しました。長崎県内の自治体職員、建設業界、地域住民を対象とし、まちおこしの基盤となる道路インフラ施設の維持管理や長寿命化に係る各種技術レベルを有する技術者を養成する講座を確立してきました。

講座は4コースで構成されます。道守補助員は入門コースで道路の異常に気付ける一般市民が対象。道守補、特定道守、道守は土木技術者を対象とした専門コースで、それぞれ、点検、診断、マネジメントを担当できることが到達レベルです。養成してきた道守は、国土交通省の民間資格として登録され、国県市町の総合評価落札方式において配置技術者の評価に組み込まれるようになりました。また、SIP「インフラ維持管理更新・マネジメント技術」において、道守の方々と共に、インフラ点検技術の実証試験を実施しています。

塩野七生著『ローマ人の物語』には、「インフラとは人間が人間らしい生活を送るために必要な大事業である」とあります。インフラの重要性は建設事業に携わる人々だけでなく、広く一般市民の合意として浸透しなければなりません。日本でも遙か律令時代に大化改新の詔で謳われた古代の道「七道駅路」が造られていました。その時には租庸調のほかに雑徭という労役がありました。その労役の遺伝子が「道守」にも繋がっているように思います。



専門コースの点検の実習

みちづくし in 鹿屋 2024

現地体験学習 10月25日(金)

2日目の現地体験学習会は、「大隅の歴史と未来を感じるツーリズム」と「鹿屋の風光明媚と平和への想いツーリズム」の2コースを準備しました。鹿屋市をはじめ大隅半島の見所を詰め込んだコースとなっています。

また、大隅地域の魅力満載のガイドブックを交流会でお配りしますので是非ご活用ください。

Aコース 大隅の歴史と未来を感じるツーリズム

日本の初代天皇である神武天皇は、今から約2700年前、ここ大隅の地でご誕生になり、後に大和地方平定のため、柏原の港より御出航されたという言い伝えがあります。“日本の起源”とも言えるここ大隅の地で、神武天皇の御父君と御母君の御陵である吾平山上陵（あいらのやまのうえのみささぎ）（※地元では「あいらさんりょう」と呼ばれ親しまれています）を訪れ「日本の始まり」に思いを馳せ、その後は、JAXA内之浦宇宙空間観測所で、気が遠くなるほど、どこまでも広がる“宇宙（未来）”を感じるコースとなっています。



●吾平山上陵

鹿児島県下の神代三山陵の一つとされており、全国でも珍しい岩屋の陵（塚堀）で、神武天皇の御父君と御母君の御陵です。500mほど続く参道が、緑が美しく、川のせせらぎがやさしく、まさに神々しい雰囲気を感じさせています。春は桜、秋は紅葉の名所としても知られています。



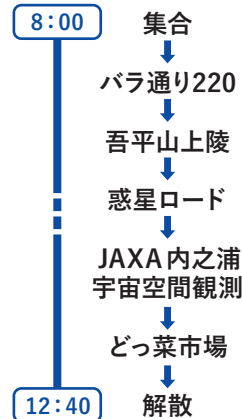
●惑星ロード

内之浦エリア中心部からJAXA内之浦宇宙空間観測所までの、国道448号線。惑星ロードに架かる6つの橋には、太陽系の惑星の名前がつけられています。各橋の親柱は、ここから打ち上げられ、宇宙開発の一時代を築いた科学衛星やロケットの部品をモチーフとしてデザインしてあります。



●JAXA内之浦宇宙空間観測所

科学観測ロケットおよび人工衛星の打ち上げならびにそれらの追跡やデータ取得などの業務を行っています。山の地形を利用して造成された台地に機能的に建物が配置されている、世界でも珍しい特色のあるロケット打ち上げ場です。



Bコース 鹿屋の風光明媚と平和への想いツーリズム

鹿屋の風光明媚と言えば、まずは海に浮かぶ鳥居が特徴の「荒平天神」。学問の神様として有名です。そして次は言わずもがな“かのやばら園”。鹿屋がばらの町と言われる所以です。8haの広大な敷地に3万5千株のバラがお出迎えします。そして、鹿屋航空基地史料館では、戦争の歴史を学び平和とは何かを考えます。太平洋戦争時に、鹿屋海軍航空基地からは多くの特攻隊員が出撃しました。史料館では彼らの写真や遺書、遺品等が展示されています。



●荒平天神（菅原神社）

県道68号線沿いにある海に突き出た島のような岩山上（天神島）に神社が建立されている風光明媚な場所です。潮の満ち引きや時間帯、季節によって様々な表情を見せてくれます。拝殿までのロープを頼りに急な階段を上がります。満潮時に拝殿までの道がなくなってしまうので気を付けてください。



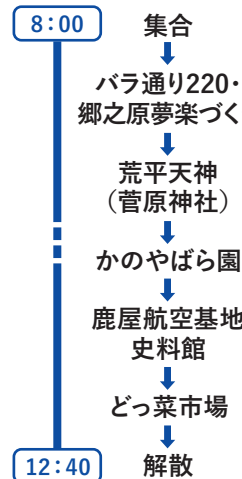
●かのやばら園

8haの広大な敷地に3万5千株のバラが植えられている日本最大規模を誇るばら園。広い園内には、王族や貴族の名前がついたばらを集めた「ロイヤルガーデン」などテーマごとに分けられ、温室では切花体験（有料）も楽しめます。鹿屋オリジナルのばらもあります。※写真は春のシーズンです。秋のシーズンとは異なります。



●鹿屋航空基地史料館

鹿屋市には、太平洋戦争時に3つの飛行場が存在し、鹿屋海軍航空基地からは908名、串良基地からは363名、計1271名という日本で一番多くの特攻隊員が出撃しました。史料館では、彼らの写真や遺書、遺品等が展示されています。戦争の歴史を学び平和とは何かを考える場所です。



能登ボランティア

道路から少し離れますが、7月13日には、岡城清掃作業を行いました。旧天守への道や奇麗に組まれた石垣にロープ安全帯をつけて草むしりを行います。登山が好きなメンバーがそれぞれの強みを生かして作業を行いました。また1月、2月、4月と定期的に、近自然工法を取り入れた登山道の整備もイベント化し、親子連れや若い参加者が増えています。今年のテーマにあるような宇宙につながるか分かりませんが、今年は1月、4月の能登半島地震災害ボランティア活動、岡城清掃活動、やまなみハイウェイボランティアと大学生や若いメンバーが多く参加してくれました。若さにはエネルギーがあります。ボランティア体験することで未来は明るいと思っています。これからも積極的に、一人でも多くの若者が参加できるように努めていきます。

やまなみハイウェイ道路が60周年を迎えました。60周年にかけて、県境を超えて大分県から熊本県までの60kmに渡ってゴミ拾いを行う予定です。今年は、大分県の後押しもあり告知を関西まで広げて、PRを行いました。ボランティアとツーリズムの融合を目指します。次年度以降も引き続きボランティアツーリズムとして企画していければと考えています。



やまなみハイウェイ清掃

JR西大分駅からかんたん港園までの道沿いに花のプランターを設置した参加者

大分市西部海岸地区は、海の玄関口として中世より南蛮貿易の要として栄えてきました。さかのぼれば、室町時代後期には、ポルトガルや明との貿易を行った大友宗麟公は、この地区にある浜辺を交易港として利用していたといわれています。また、近代では1911年（明治44年）にJR西大分駅が開業。鉄道による陸運と大分港を拠点とする海運とを結びつけることにより物流を促進し、産業を振興することを目的とするもので行われ、昨今では国道10号の6車線化に伴い、1日に7万台もの車が行き交っています。



国道10号に設置したフラワーボット 国道10号沿いの歩道の花の植え込み



まちなかフラワーパークの開会式。「チームM。」をはじめ、毎回多くの市民が参加する

宮崎市内の民間事業者24社により結成されたグループですが、発足当初は、メンバーも若く、子どもたちと一緒に植栽と清掃活動を行っていましたが、子ども達も大くなり、進学や就職で故郷を離れる者も多く、最近では少し淋しいですが、今ではいい思い出です。最近はいよいよ出で、外国人実習生も一緒に参加してくださるようになり、新たなステージに入りました。全員揃っては年に2回の参加ですが、各参加事業者も、地域の清掃活動等にもそれぞれ取り組んでいます。今後も、地道ながらも仲間との繋がりを大切に、地域貢献活動が続けて行きたいと思っています。



技能労働者(ミャンマー)の青年達



株式会社シエルパ 代表取締役 阿南 大吉氏

熊本



西生石自治会 川端 清治氏

大分



「チームM。」代表 児玉 清和氏

宮崎

『まちなかフラワーパーク』参加20年へ



奈留島の写真



奈留島の遠命寺トンネル

わ | た | し | の | 好 | き | な | 道

潮風を浴びながら走れる離島の道

長崎県道168号 長崎県五島市奈留町

長崎県五島市にある奈留町は五島列島にある人口2,000人弱の島です。

島の育った島で、小さい頃、陸上をしてよく走った道です。島の道路になるので、海と面した道路というのが特徴的で、細い道になれば車のすれ違いでもハラハラしながら通る。車を運転する人に運転技術が求められる、そんな特徴を持った道です。

今となっては、人口も少なくなりましたが、小学校・高校まであり、ダムやトンネル、信号などインフラに関するものは今でもしっかりと有ります。世界遺産にも登録された江上天主堂やユーミン（松任谷由美）さんが作詞・作曲してくださった長崎県立奈留高等学校の校歌の歌碑があるのも胸を張って言える自慢です。その地点まで人をつないでくれているのが、長崎県道168号になります。

また、島の道路では学生の頃、植樹（椿の木）をした場所もあり道路に関する景観についても意識を持つ事ができるようになりました。（五島市の特産品として、椿油が有りましたので椿の木を植樹する経験をいただけたのかなと思っています。）その為、大分に来てから佐賀関に向かう国道197号線は地元を思い出される街並みで個人的には懐かしさを感じる道です。日本風景街道で2023年に関のヤブツバキ花まつりの案内を見たときには、地元と似た親近感を持ったことを今でも覚えています。

道守に携わって数年経ちますが、島で育った時の経験してきた事が今に繋がっていると常々感じます。小さい頃から行っていた地区のゴミ拾いでは、ゴミを捨てない事の大切さを理解する事が出来ましたし、椿の植樹を通して道路への関心を持つことができました。

今後は、自分が経験してきたことを下の子たちに繋げていける工夫ができればと思います。まだまだ、アマチュア道守会員ですが、今後ともよろしく願いいたします。



■プロフィール

江口 元気（えぐち・げんき）

所属：西日本コンサルタント株式会社
総務部
道守大分会議事務局 会計



ユーミン作詞・作曲の校歌の歌碑

私たちの道守活動

道に出て、道を見つめ、道の問題と向き合う。それは私たち自身の未来を考えること。歩いて楽しく、暮らして楽しい地域づくりのために、九州各地の道守会員が取り組むスタイルやアイデアなどもさまざまな活動を紹介します。

あるものを活かす まちづくり
できることを
できるときに

地域からの報告 長崎

小浜温泉57

みんなで街をきれいにしよう！きれいな環境でお客さまをお迎えしよう！と、2006年1月、旅館の女将、商工・観光関係者で「小浜温泉57」を設立しました。

◆環境美化活動

国道57号の小浜地区・千々石地区の花壇の花植えや除草、植栽の剪定など実施。「平松なかよし花壇」と「かみのだ花壇」は、地域の自治会と協働で行い、いつもきれいにされています。

「道路ふれあい月間」と日本風景街道「島原



旅館女将の早朝清掃



国道57号 かみのだ花壇 花植



道路ふれあい月間 温泉街清掃



小浜高校生徒とブロンズ像の洗浄

半島うみやま街道」の二斉清掃では、温泉街の国道・市道・公園を各種団体・自治会に呼びかけ清掃しています。

11月開催される「長崎県高校駅伝大会」の前には、スタート地点の「完走の華」ブロンズ像を小浜高校生と洗浄。コースを清掃しています。

◆「通り名」表示板の設置

2009年3月、小浜温泉を訪れた人の道案内になるようにと、「通り名」表示板を15通りに設置。沿道にジャカラndaを植樹して

いる国道57号と251号は、「ジャカラnda通り」と命名しました。

◆道の安全調査

国道57号を小浜維持出張所と歩いて道路の施設を調査し、地域の要望なども加え、これまで、歩道の新設、危険箇所の防護柵設置、舗装改修、電線地中化など実現することができました。

◆ジャカラnda街道づくり

2008年3月、国道57号の街路樹にジャカラnda6本の植樹から始まり、2012年2月、雲仙市民提案事業「小浜温泉ジャカラnda街道づくり」で公園や国道沿線に約150本を植樹。

国道57号赤崎緑地帯や公園に2009年から続けている、小浜小学校6年生の卒業記念植樹。道路協力団体の活動として、国道57号の花壇に植樹し、苗木を増やすと共に、販売して、道路の環境美化財源に充てています。

ジャカラndaの花びらが、ひらひらと散り、地面が薄紫の絨毯になる。ジャカラnda・シャワーを浴びると幸せになるといい、ジャカラndaは小浜温泉の初夏の風物詩になっています。これからも、ジャカラndaが並木になるよう取り組んでいきます。

◆小浜温泉57だより発行

6月27日、第151号を発行。長崎河川国道事務所のホームページで、ご覧いただけます。（小浜温泉57 竹馬朋宏）



花びらの散る様は、まるでジャカラnda・シャワー



小浜小学校6年生卒業記念
ジャカラnda植樹





NPO法人男女・子育て環境改善研究所（福岡市）

「防災・減災」の視点から
「みち」を見てみよう

当法人は、福岡県西方沖地震があった平成17年から、親子、保護者、子育て支援者、小学生などを対象に「防災・減災」啓発教室に取り組んでいます。教室のポイントの2つが、避難路として「みち」を見ること。

国交省の「重ねるハザードマップ」に各自がスマートフォンでアクセスして、洪水や土砂災害などの災害リスク情報を見るのですが、この時、ほとんどの方が「自宅付近」だけを見がちです。しかし、災害は自宅にいる時に起きるとは限らないので、少なくとも日常出かける先と、そこに移動するための「みち」（経路）の情報も見ていただいています。

さらに、家族で話し合った避難場所へ行く際にこの道を歩くという視点で、実際に歩いて、マップだけでは得にくい情報（溝がある、坂が急だ、など）を確認しておくことも大事であるとお話しています。



自治体発行のハザードマップでも「みち」の災害リスクを確認

「平常時に『みち』の情報を知っておくことが命を守る行動につながる」。これからも多くの方に伝えていきたいと思っています。
（男女・子育て環境改善研究所 事務局長 富山万里子）



避難する「みち」についても台本に入れている、親子対象教室用オリジナルエプロンシアター



株式会社丸福建設（佐賀市）

地域への感謝を込めて

株式会社丸福建設は、平成24年度から道守佐賀会議に入会し、地域貢献として多くの清掃活動に参加してきました。弊社の活動拠点エリアは、毎年11月に佐賀インターナショナルバルーンフェスタが開催される地域で、県内はもちろんのこと県外からも大勢の見物客が見られますので、玄関口でもあるJR久保田駅周辺及び国道207号沿線の清掃活動を行っております。

また道守佐賀会議にて開催された「佐賀城下ひなまつり清掃」や「さが桜マラソン応援清掃」等にも積極的に参加し、地域の方たちと一緒に社会の環境保全に取り組んでおります。



佐賀城下ひなまつり清掃



さが桜マラソン応援清掃



久保田地区清掃活動



自然を愛する会（南小国町）

やまなみハイウェイつながる・ひろがるプロジェクト

6月20日（木）、阿蘇瀬の本レストハウス別館にて、基調講演のあと、「これからのやまなみハイウェイの活動」として全員が意見を出し合うワークショップ形式で6つのテーマに分け議論を交わした。

ツアーではインバウンドや地域固有の観光資源の発掘など、修景は4年前の立ち上げから重要な案件である。今回もやまなみハイウェイの60年前の展望から今日のやまなみハイウェイの杉の木や雑木林に覆われて展望が悪くなっていることあり「何とかならないか？」と強い意見も出た。

今回、林野庁玖珠営林署から瀬の本まで長者原間で300mに及ぶ杉の伐採をして九重連山や阿蘇山の展望が良くなったと報告がある。確かに素晴らしい景観が広がって修景活動が前進したものだ。サイクルではワールド九州大会でやまなみを走る区間もありゴミ拾いをしておもてなしにつなげたいと、今年も10月5日（土）に実施することが報告された。やまなみハイウェイ開通60周年の記念の年に60kgゴミ拾い作戦が実施される。環境省阿蘇事務所から自然や風景環境などについてアドバイスがある。やまなみハイウェイは大分県・熊本県と分かれるがその垣根を越え、多くの人たちが集まり熱い想いを語る。国交省九州地方整備局など手を取り合って道の活用や自然との共生で美しい風景と道が結び合っていくなら今回のクロスミッシングの意味は大きいと思う。



歴史・文化のテーマで熱く語り合う

（阿南誠志）



88名も集まった参加者



西生石自治会（大分市）

海に見える美しい西大分地区を
花で彩る活動に励んでいます！



朝の時間帯にできるだけ活動しています

西生石自治会は、西大分駅交差点付近～大分港線（通称40m道路）手前の国道10号区間を中心に定期的に地域の美化活動を行っています。今年の夏は特に暑く、朝5時から活動を開始し、国道10号沿い鳴門うどんから大分生石郵便局まで約200mの両サイドに設置している20数台のプランターや道路植栽帯にある

花壇への水やりが大変でした。2024年春には、明治時代に建てられた木造駅舎が残るJR西大分駅前ロータリーの改修工事が終わり、駅前にある憩いの広場にあるお世話をしている花も咲き誇り、休む人や、通りすがりの方から「キレイですね」と声をかけられることも多くなりました。

花苗の選定や植え付けに関しては、同じ地区に住む行政OBでお花のプロに相談をしながら、適切な花を予算内で選んでいます。

昨今は自治活動に無関心な人も多いですが、町全体がキレイになるために、効率よく、無理なく、地域の美化活動にこれからの励んでいきたいと思っています。



国道沿いにお花のフラワーポット



土の状態がよくないので、花壇に適した土を入れたい

（自治会長 川端清治）



道の駅きたごう（日南市）

オープンを祝い、大学生らが
花植え活動

道の駅きたごうは令和5年10月1日、日南市北郷町にオープンしました。施設内には九州最大級の「インクルーシブ公園」が併設され、様々なイベントも開催されています。食事は地元でとれた新鮮な魚が食べられる「かつを専門店」、本格ナポリピザが食べられる「レディグランド」があり子供と公園で遊びながら食事を楽しむことができます。お土産商品には野菜はもちろんのこと、かつをのたまきガーリック風味「や目井津港で地元の焼酎を海中に沈めた「海底熟成酒」など海の幸、山の幸が楽しめますので是非お立ち寄りください。



道の駅に併設したインクルーシブ公園



道の駅きたごう店内



オープン時の道守植栽活動の参加者

（道の駅きたごう 駅長 小道修平）



NPO法人きらり（薩摩川内市）

道守活動を繋げるお手伝い

NPO法人きらりは、2006年設立より「まちづくりの推進」「災害救援活動」「環境美化・保全」「子供健全育成」など、行政と地域の団体、イベントを繋ぎ、様々なボランティア活動を行っています。

昨年鹿児島県では、「2023かごしま総文祭」と「燃ゆる感動かごしま国体」という国内最大の祭典が2つも開催されました。

「総文祭」では、様々な制限があるなか行政と協働で、パレードのゴール地点辺りに花壇を設置できることとなりました。花壇の花は、全国の高校生による芸術文化活動の発表の場なので、会員である神村学園の高校生に育ててもらいました。

また「国体」では、行政、近くの認定こども園と協働で、園児と一緒にプランターへ花を植え、園児が書いた応援メッセージのシールを貼り、会場近くへ設置しました。



かごしま国体に向けて花を育てる園児

これからの、風景街道をはじめ様々な団体を繋ぐお手伝いを続け、それぞれの活動を活性化し、地域振興の助になりたいです。

（NPO法人きらり 矢内利奈）



かごしま総文祭でのひまわりのオブジェ

九州風景街道 令和5年度年間活動表彰

令和5年度の年間活動表彰

九州風景街道推進会議では、ルートの取組が地域の魅力を発掘、維持、発展させ、他地域の人々へ魅力を提供することとなり、その取組が当該ルートばかりでなく、他ルートの更なる取組を促すことを目的とし、優秀な活動を実施したルートを年間優秀活動賞として毎年表彰しています。

令和5年度の年間優秀活動賞は、ながさきサンセットロード、北九州おもてなしの”ゆっくりかいどう”、あまくさ風景街道の3ルートが受賞しました。

ながさきサンセットロード

◆高校生フォト&ボランティアツアー

ながさきサンセットロードでは、若年層に対しルートの知名度向上を図ることを目的として、諫早農業高校の学生15名と顧問教員を招待し、バスツアーを開催しました。バスツアーでは、ルート沿線の見どころや各ポイントを紹介し、清掃ボランティアや工事現場見学、写真撮影を通してルートの魅力に触れてもらいました。

ツアー後には、長崎県庁ロビーにてツアー中に撮影した写真の展示会を開催することで、ルートのPRと知名度向上が図られました。

本活動は、地域

の交流や魅力発信に若年層を取り込み、ルートの魅力や活動を次世代へつなぐ取組となった点などが評価されました。



募集ポスター



ツアー中に撮影した写真の展示会



諫早農業高校の生徒15名と清掃ボランティア実施

北九州おもてなしの”ゆっくりかいどう”

◆風景街道 Days in 小倉の開催

北九州おもてなしの”ゆっくりかいどう”では、北九州風景街道の知名度向上を図ることを目的として、参加者が自身の「目で感じ」「目で見て」「知識を深める」をモットーに、「風景街道 Days in 小倉」を開催しました。

イベントでは、風景街道クイズ&スタンプラリー、史跡探訪お城ウォーク、フォト&スケッチコンテスト受賞作品展、缶バッジ作り体験、駕籠&フォト体験、インスタグラムハッシュタグキャンペーンを実施しました。

また、他のイベントと同時開催することで日本風景街道の取組について広く情報発信し、一般の方へ積極的にPRを行いました。

本活動は、多様な取組によって、日本風景街道を知らない方へ向けた効果的な広報活動を行った点などが評価されました。



史跡探訪お城ウォークの様子



駕籠&フォト体験の参加者



Instagramハッシュタグキャンペーンのノベルティ(マグカップ)



フォト&スケッチコンテスト受賞作品展

あまくさ風景街道

◆花いっぱい活動、天草街道おもてなし一斉清掃

あまくさ風景街道では、天草街道おもてなし一斉除草をはじめ、パートナーシップ団体による美化活動を継続するほか、特徴的で魅力的な風景や地域資源と相性の良いサイクルツーリズムの推進を通じた天草地域の賑わい創出と地域振興の促進を図っています。

天草街道おもてなし一斉除草では、行政と民間が一体となり、天草管内の主要道路である国道266号、国道324号、国道389号において、ロードクリーンボランティア他、天草高校、倉岳高校、上天草高校、牛深高校、天草工業高校、拓心高校（本渡校舎・マリン校舎）の高校生、天草市、上天草市、苓北町の行政職員、県天草広域本部職員等、合計2906人の参加者と共に美しい道路景観に関する機運の醸成を図りました。

本活動は、行政と民間が一体となって継続的活動を行っている点などが評価されました。



天草おもてなし一斉清掃



がんばる高校生たち



清掃前の活動説明

第6回 国指定史跡竹田市岡城 石垣草刈り清掃ボランティア

自然を愛する会（風景街道阿蘇路・道守くまもと会議）の呼びかけで、7月13日（土）に九州各県からクライマー40名、草刈り44名のボランティアが集まり、難攻不落の堅城と言われる岡城の清掃ボランティアに汗を流した。9時30分の開会には土居昌弘竹田市長もかけつけ激励の言葉をいただく。

時折雨が降り悪天候の中での作業になるが、ザイルに命を預けてロープに下がるクライマーには、30mの石垣クライミングは絶好のグレンデとなる。二の丸などは草刈機持参で手際よく雑草が刈られていき、石の階段は手作業で草を取る。竹田市の和田ボランティアグループからそうめんやトウモロコシの差し入れがある。15時に終了。美しくなった岡城跡に参加者の皆さんも満足の笑顔で岡城跡を後にした。

文責 阿南誠志 自然を愛する会代表

風景街道「阿蘇路」世話人「道守くまもと会議」世話人



次々と岡城の石垣の草を刈っていくクライマーたち



階段の草取りはこつこつ手作業で



九州各地から集まったボランティアたち

道守たちのトピックス



表彰状



盾

昭和62年に松の植樹活動を始めて37年、約57,000本を植樹し、現在は白砂青松の海浜地が博多湾一帯に連なり、「水と緑とまちづくり」をテーマに海から川、川から水源地の森へと、深く交流を重ね、自然との関わりや自然と共に生きるための実践活動を続けてきた「特定非営利活動法人はかた夢松原の会」が緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞を受賞されました。

令和6年4月26日、天皇皇后両陛下ご臨席の下、内閣総理大臣はじめ文部科学大臣、国土交通大臣、農林水産大臣、環境大臣同席され、受賞式典が開催され、はかた夢松原の会理事長の磯谷慶子さんは、両陛下と国土交通大臣と懇談する機会に恵まれました。

荣誉ある賞を受賞されたのは、長年の活動の賜物でしょう。理事長の磯谷さんは、「これまで支

特定非営利活動法人
はかた夢松原の会

「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞

えてくださった皆様のご支援に感謝申し上げます。この受賞を糧に緑豊かな環境を次世代に繋げていくような活動を皆様と共に末永く続けてまいります。」と意気込みを述べています。

(尾木 幾子)



岸田総理大臣を中心に記念撮影



2001年の世界椿サミットを宮崎市に誘致・プレゼンを行う



フラワーロード・ネットワーク植栽ボランティア開会式

”橘通りフラワーロード”に 花植え20年

道守みやざき会議 世話人 新名典忠氏

道守活動には20年ほど関わっており、道守みやざき会議の代表世話人を務めさせてもらい、現在は宮崎地区の世話人をしていきます。

道守との最初の関係は2004年から国道220号線沿いを”橘通りフラワーロード”と名付け春夏の年2回、約1kmの歩道沿いの花壇に花植栽を行い、宮崎を訪れる人々に”花のまち・宮崎”をアピールしています。この植栽事業には、商店街の人々をはじめ、企業・団体や家族連れなど多くの市民が参加し、今では市民参画の恒例のイベントとして定着しています。

2001年国際ツバキ協会世界サミットの誘致にも携わり宮崎市椿山地区（約40ha）に約55,000本1,100種の椿が植栽されたこの地で世界椿大会を開催し、その時に”世界優秀椿庭園”の認定を受けました。

また、約450世帯の地元自治会の会長を務めております。地区内にある市街区公園（約6,000㎡）愛護活動で花植栽と草刈りなどで公園の維持管理に努め、今年6月の全国みどりの集いにおいて国土交通大臣賞の栄に浴しました。子どもたちや高齢者にとって安全・安心なまちづくり活動を行っております。

私自身今年喜寿を迎え、体力的には厳しい面はありますが、それぞれの団体での仲間の皆さんと、楽しく、無理なく”をモットーに、自身の体力維持、健康管理の意味合いを含めて活動しています。



トランプ遊びー自治会高齢者訪問活動



新名典忠氏

アンケート回答のお願い

より身近な道守通信の制作を目的として、読者の皆様へアンケートを実施することといたしました。

右記のQRコードよりアンケートフォームへお越しいただき、ご回答をお願いいたします。

会員登録等はありません。

なお、回答は統計的に処理され、当アンケート以外の目的で使用することはありません。

また、ご記入いただいた個人情報について、第三者に提供することはございません。

より良い道守通信作成のため、たくさんの方からのご回答をお待ちしております。



道守通信 編集後記

○今年のみちづくり大会は鹿児島県の鹿屋市で10月24日と26日に開催されます。交通の便が悪いので、参加者の動向が心配でしたが、400名の方たちが参加されるそうです。

今回のテーマは、「道守」宇宙へつづく光る道へです。鹿児島県の道守活動を中心に各県からの報告が楽しみです。今後の道守活動について意見交換したいと思っています。

2日目の現地体験もバス3台での見学が予定されています。内之浦宇宙空間観測所や惑星ロード、パラ園や鹿屋航空基地資料館など見どころ満載です。「宇宙」に思いを寄せながら、みちづくりを堪能いたしましょう。

○巻頭インタビューは、7月に着任された森田局長を訪ねました。九州勤務は長崎や道路部、熊本河川国道では熊本地震時の事務所長で、大変ご苦労されました。インタビューの二人からは熊本地震に始まり道路の活用について、時間を忘れるほど和やかなインタビューとなりました。

局長は、みちづくしにご参加いただきますので、長崎や熊本の道守さん達と交流を深められてはいかがでしょうか。

○今年の夏は猛暑に見舞われ、雨も降らずカラカラの日々でしたが、8月末襲来したノロノロ台風10号で鹿児島、宮崎、大分は大変な被害にあわれたことでしょう。夏の前半は水やりに翻弄され後半は台風で右往左往した方たちも多かったことでしょう。道守活動にとって大変な季節でした。これからはさわやかな秋晴れの下、活動が活発に実施されることを願っています。

～道守を支援いただいている賛助会員の皆様(団体・企業)～

※順不同

一般社団法人 九州地域づくり協会	九州国道協会	(一社)プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部
一般社団法人 日本道路建設業協会 九州支部	一般社団法人 大分県建設業協会	一般社団法人 佐賀県建設業協会
一般社団法人 鹿児島県建設業協会	一般社団法人 熊本県建設業協会	一般社団法人 長崎県建設業協会
一般社団法人 福岡県建設業協会	一般社団法人 宮崎県建設業協会	大分県道路利用者会議
株式会社大林組 九州支店	鹿児島県道路利用者協議会	鹿島建設株式会社 九州支店
九州電力株式会社	熊本県道路利用者協会	建設サービス株式会社
佐賀県道路愛護協会	清水建設株式会社 九州支店	大成建設株式会社 九州支店
長崎県道路協会	長幸建設株式会社	西日本高速道路株式会社 九州支店
日新興業株式会社	福岡北九州高速道路公社	福岡県道路協会
福岡市道路利用者会議	宮崎県道路利用者協議会	株式会社九州建設マネジメントセンター
九州技術支援協議会	株式会社熊谷組 九州支店	西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社
西日本高速道路メンテナンス九州株式会社	阪神高速技術株式会社	小田開発工業株式会社
サンコーコンサルタント株式会社 九州支店	日本振興株式会社 九州支店	アイレック技建株式会社 九州支店
旭建設株式会社	朝日テクノ株式会社	株式会社 新井組 九州支店
株式会社安部日鋼工業 九州支店	株式会社安藤・間 九州支店	株式会社アジア技術コンサルタンツ
株式会社アップス	朝日工業テクノス株式会社	朝日開発コンサルタンツ株式会社
いであ株式会社 九州支店	鳥城塗装工業株式会社(九州支店)	Fe石灰技術研究所
NTTインフラネット株式会社 九州事業部	株式会社エスケイエンジニアリング	株式会社エンジニアプランニング
株式会社エイト日本技術開発 九州支店	株式会社エスイー 九州支店	扇精光コンサルタンツ株式会社
大分瓦斯株式会社	大分県建設業協会 大分支部	大分県道路舗装協会
株式会社大島造船所 九州営業所	株式会社荻島組	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 九州支店
株式会社岡崎組 勝盛会	鹿児島土木設計株式会社	株式会社柏木興産
株式会社片平新日本技研 福岡支店	株式会社カンドー	上内電気株式会社
川田建設株式会社 九州支店	株式会社ガイアート 九州支店	一般財団法人 橋梁調査会
九建設株式会社	九州建設コンサルタント株式会社	九州地区道路利用者会議
九州みちの会	協同エンジニアリング株式会社	株式会社橋梁コンサルタント 西日本支店
株式会社九州開発エンジニアリング	九州環境管理株式会社	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 九州支部
株式会社建設環境研究所 九州支店	株式会社建設技術研究所 九州支店	株式会社建設技術センター
株式会社建設技術コンサルタンツ	株式会社鴻池組 九州支店	株式会社国土開発コンサルタント
株式会社コバルト技建	コアツ工業株式会社	株式会社駒井ハルテック 九州営業所
一般社団法人 佐賀県土木づくりコンサルタンツ協会	西部ガス株式会社	株式会社サタコンサルタンツ
株式会社西海建設	株式会社島田設計コンサルタント	株式会社親和コンサルタント
新成建設株式会社	株式会社新日本技術コンサルタント	昭和コンクリート工業株式会社 九州支店
JR九州コンサルタンツ株式会社	株式会社ジャストエンジニアリング	株式会社末宗組
株式会社西部技建コンサルタント	株式会社センコー企画	株式会社そよかぜ館(「道の駅大和」)
有限会社測量企画センター	株式会社総合技術コンサルタント 九州支店	瀧上工業株式会社 福岡営業所
多久市そうじの会(多久の未来を創る会)	宅島建設株式会社	谷川建設工業株式会社
株式会社高山組	株式会社玉の湯	太陽技術コンサルタント株式会社
第一生命保険株式会社 佐賀支店	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 九州支店	大福コンサルタント株式会社
株式会社長大テック 福岡支店	中央コンサルタンツ株式会社 福岡支店	中央復建コンサルタンツ株式会社
株式会社長大 福岡支店	通信土木コンサルタント株式会社 九州支店	株式会社友岡組
株式会社東豊開発コンサルタント	株式会社友岡建設	東急建設株式会社 九州支店
東洋技術株式会社	戸田建設株式会社 九州支店	利光建設工業株式会社
株式会社地域科学研究所	株式会社東亜コンサルタント	株式会社東京建設コンサルタント 九州支店
株式会社 中村緑地建設	南生建設株式会社	株式会社名村造船所 福岡営業所
株式会社西九州道路	株式会社西田技術開発コンサルタント	株式会社日建コンサルタント
西日本建技株式会社	西日本コンサルタント株式会社	西日本コントラクト株式会社
日本乾溜工業株式会社	日本工営株式会社 福岡支店	日本地研株式会社
西日本技術開発株式会社	日鉄鉱山コンサルタント株式会社 福岡支店	日本軌道工業株式会社
株式会社野村建設	葉隠会道守部会	株式会社萩原技研
パシフィックコンサルタンツ株式会社 九州支店	株式会社東九州コンサルタント	株式会社日高本店
株式会社ピーエス三菱	福地建設株式会社	復建調査設計株式会社 九州支店
株式会社福山コンサルタント	株式会社富士設計	株式会社富士ピー・エス
株式会社ぶぜん街づくり会社(「道の駅」豊前おこしかけ)	株式会社丸福建設	前田建設工業株式会社 九州支店
松尾建設株式会社	松本技術コンサルタント株式会社	株式会社三原建築設計事務所
みちを考える会	宮崎空港ビル株式会社	宮地エンジニアリング株式会社 福岡営業所
有限会社道の駅みえ	株式会社宮崎産業開発	株式会社水野建設コンサルタント
村本建設株式会社 九州支店	八千代エンジニアリング株式会社 九州支店	株式会社ヤマウ
株式会社ヤマックス	株式会社横河ブリッジ 福岡営業所	龍南建設株式会社
株式会社テクノコンサルタント	株式会社 日本ピーエス 九州支店	
個人会員66名		



発行 「道守九州会議」

広報誌「道守通信」秋号
令和6年10月発行

「道守九州会議」事務局

■道守支援室(九州地方整備局道路管理課内)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
TEL.092-471-6331(代) FAX.092-476-3481

■(一社)九州建設技術管理協会内
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目19番3号
TEL.092-471-0189 FAX.092-414-0767

道守HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/michimori/> e-mail michi-kima@kyugikyo.or.jp